

2007 年度

科目名  日本文学特講Ⅱ	対象学科・学年 専攻科教福1回生	担当者  高橋 圭一
授業テーマ 江戸文学の一ジャンルである実録の研究		
授業の概要と目標 実録体小説、略して「実録」についての講義です。実録とは「事実の記録風の小説」の意で、多くは江戸時代に実際に起こった事件を題材とし、いかにもこれが真実であると銘打たれているものの、浮世草子や読本同様全くの創作とみなすべき作品群です。予定よりかなり遅れていますが、『大坂城の男たち』という本（岩波書店刊）を出しますので、大坂の陣関係の実録を今年度まで専ら取り上げます。		
評価方法  講義の終わりにレポートを提出してもらいます。出席も重視します。		
テキスト 使用しません。原稿のコピーを配布します。	著者	出版社
参考書 『実録研究一筋を通す文学一』（購入の必要はありません）	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1、実録序説。実録とはいかなる文学か、どのような作品（群）があるのか、どのように読まれたのか、など。 2、 続き。幕府からはどのように見られたのか、など。 3、 続き。実録と軍学など。実録研究が立ち遅れていることなど。 4、本編その一。「苦悩の忠臣」片桐且元。 5、 続き。「桐一葉」の片桐且元。片桐且元と大筒。 6、 続き。「大坂方のスカウト」片桐且元。 7、本編その二。「豪傑」後藤又兵衛。 8、 続き。その高名。武辺話中の後藤又兵衛。 9、 続き。近世軍記『難波戦記』中の後藤又兵衛。 10、 続き。後続の実録に描かれた後藤又兵衛。 11、 続き。明治期の講談速記本中の後藤又兵衛。 12、又兵衛が主人公である浪花節「お笑い難波戦記」を聴いてみましょう。 13、本編その三。「大坂城中の花」木村長門守重成。 14、 続き。木村長門守の堪忍袋。 15、 続き。和睦の使者、木村長門守。 講談「村越茂助誉の使者」と落語「粗忽の使者」。 16、 続き。木村長門守の死。蘭奢待の香り。 17、本編その四。薄田隼人の「失態」。橙武者薄田隼人。と「助太刀屋」塙団右衛門。 18、 続き。『難波戦記』の失態と『厭蝕太平楽記』での雪冤。 19、 続き。『本朝盛衰記』に描かれた超人的な活躍と壮烈な最期。 20、 続き。薄田隼人の前身、岩見重太郎。 21、本編その五。「夜討ち抜け駆けの大將」塙団右衛門の実像。 22、 続き。『難波戦記大全』での活躍など。 23、 続き。塙の助太刀。「天下茶屋の敵討ち」など。 24、 講談「難波戦記」塙団右衛門の最期の件を聴いてみましょう。 25、本編その六「天下無敵の軍師」真田幸村。 26、 続き。抜け穴と短銃。 27、 続き。父昌幸のこと兄信之のこと、など。 28、 続き。機略縦横の軍師の誕生。 29、 続き。幸村と忍者、猿飛と霧隠。 30、実録の近代。  芸能鑑賞法Ⅱで講談師が実演する回は、時間が許せば、是非聴講してください。		